Panasonic

# シーリングライト（防湿型・防雨形）

品番 FSW42544

取扱説明書
保管用

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

**施工説明** **工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

## 安全に関するご注意

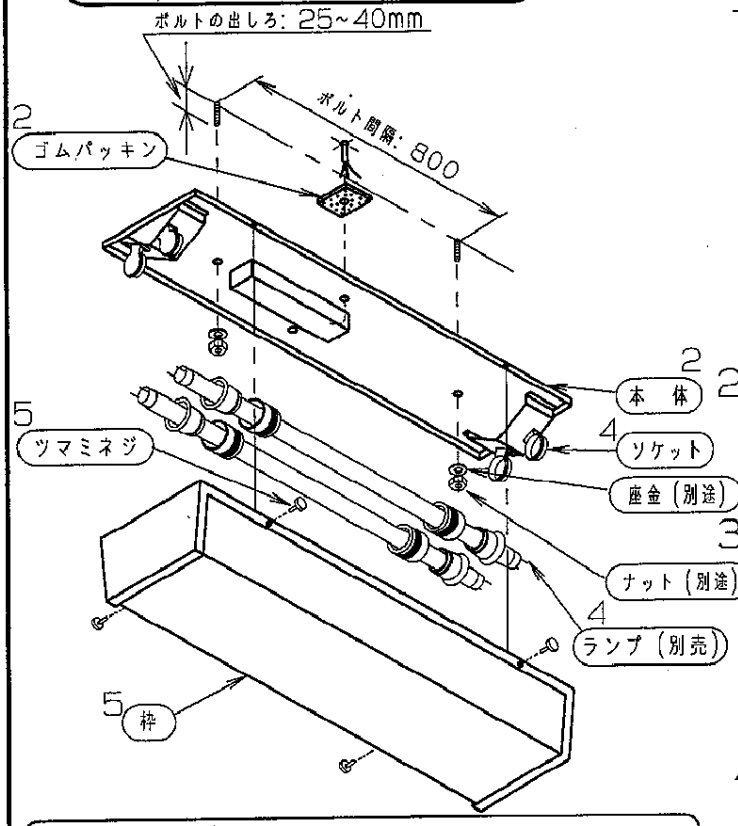
### ⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行なう。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。 感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数以外の電源で使用しない。 感電・火災の原因となります。
- 電気設備技術基準にしたがい必ずD種（第3種）接地工事をする。接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。
- 電源線の接続部分は完全な絶縁・防水処理（融着テーピング等）をする。感電・火災の原因となります。

### ⚠ 注意

- 周囲温度は、5~35℃以外では、使用しないでください。 ちらつきや短寿命の原因となります。
- 振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電の原因となります。
- この器具は防湿・防雨型器具です。サウナなど高温になる場合には使えません。過熱による火災の原因となります。
- 本体表示及び取扱説明書に指定されたランプを使用してください。防水性が損なわれ、絶縁不良または、感電の原因となります。

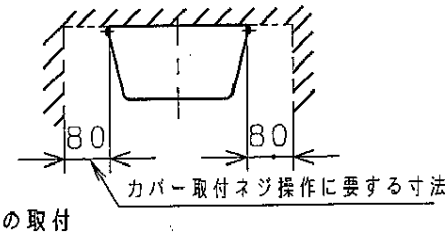
## 各部のなまえと取付けかた




### 1 取付前の確認

- 器具重量（6.4Kg）に十分耐えるよう、ボルト又は木ネジ取付部（ネジ掛かり代）の強度を確保する。
- 取付ボルトは、W3/8又はM10を使用する。
- 木ネジは、丸木ネジの呼び4.1以上を使用する。

**不備があると器具落下の原因となります。**




### 2 本体の取付

- 本体の電源穴にゴムパッキンを貼り付ける。
- 電源線、アース線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 本体を取付ボルトに確実に取付ける。

**取付が不完全な場合、本体落下の原因となります。**

### 3 電源線・アース線の接続

- 電源線を確実に接続し、完全な絶縁処理をほどこす。




・防湿・防雨型ですので接続部は外部からの完全な絶縁処理が必要。

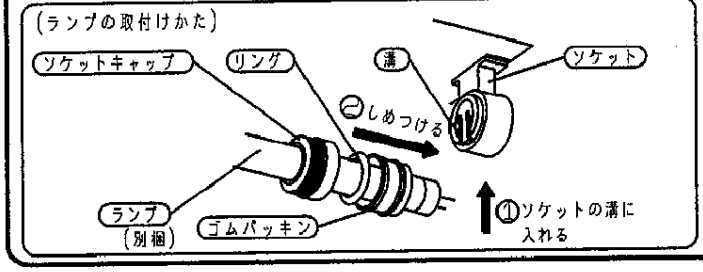
- D種（第3種）接地工事が必要。

**接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。**

### 4 ランプを確実に取付ける。

- ランプ（別梱）にソケットキャップ（ゴムパッキン、リング付き）をはめ込む。
- ランプを下図の用に確実に取付ける。
- ソケットキャップをソケットにしっかりとしめつける。

**しめつけが不完全な場合、防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電、火災の原因となります。**

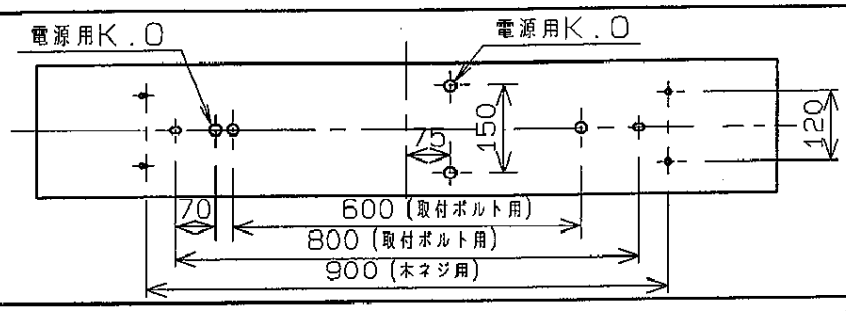



### 5 枠の取付

- ツマミネジを締め付けて枠を確実に取付ける。

**取付が不完全な場合、本体落下の原因となります。**

## 器具背面図




# 取扱説明　お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### ⚠ 警告

- 器具を改造しない。　感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
  すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。

### ⚠ 注意

- アルカリ系洗剤は使用しない。　強度低下による破損の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。　感電の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。

  設置して10年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。　点検・交換してください。
  ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
  3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
  点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- 25mm管専用です。指定外のランプは使用しないでください。防水性が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。

## 保証について

- 保証について
  この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
  ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について
  保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

## 使用上のご注意

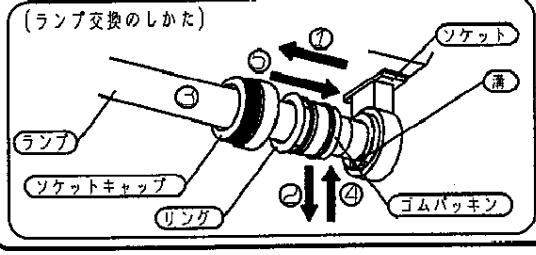
・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
・同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
事前に確認し、対策を講じてください。

## お手入れ・ランプ交換 ⚠ 注意 （必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります。）

- 器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
  シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
  変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ランプ交換について・・・・下記の指定された部品を使用してください。（パナソニック製蛍光ランプをご使用ください。）

| 交換部品 | 蛍光ランプ | FHF32EX |
|---|---|---|

（ランプ交換のしかた）




① ソケットキャップ（ゴムパッキン、リング付）をソケットから取外す。
② ランプを下方向に取り外す。
③ 新しいランプにソケットキャップ（ゴムパッキン、リング付）をはめこむ。
④ ランプをソケットに取付ける。（溝を合わせる）
⑤ ソケットキャップをソケットにしっかりとしめつける。
取付が不完全な場合、防水性能が損なわれ、絶縁不良または感電の原因となります。

パナソニック株式会社　施設・店舗照明ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター　0120-878-365（フリーダイヤル）
0120-878-236（FAX）

K0405-030112